

平成 2 5 年 8 月 9 日 開 会

平成 25 年度第 5 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

| 件名 | 提案理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|--|--|--------|-------|
| 議案第27号 垂水市立学校管理規則の一部改正について | 学校事務の共同実施に伴う「学校事務支援室」の設置等について規則を整備しようとするものである。 | 特記事項なし | 承認 |
| 議案第28号 垂水市立小中学校事務支援室の組織及び運営に関する規程の制定について | 学校事務の共同実施に伴う「拠点校」と、拠点校と連携して業務を行う「連携校」の指定等について規程を整備しようとするものである。 | 特記事項なし | 承認 |
| 議案第29号 垂水市立小中学校の学校事務支援準備室の組織及び運営に関する要綱の制定について | 学校事務の共同実施に伴う「学校事務支援室」を設置することができない場合に設置する「学校事務支援準備室」の設置等について要綱を整備しようとするものである。 | 特記事項なし | 承認 |
| 議案第30号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しようとするものである。 | 特記事項なし | 承認 |

平成25年度第5回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所 | 出席者 | |
|--|--|--|
| <p>平成25年8月9日（金）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時30分</p> <p>柘原小学校音楽室</p> | <p>教育委員長 橋口 敬二</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育長 長濱 重光</p> | <p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p> |

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第5回教育委員会定例会を開会した。

2 平成25年度第4回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長報告

4 議 事

議案第 27 号 垂水市立学校管理規則の一部改正について

議案第 28 号 垂水市立小中学校事務支援室の組織及び運営に関する規程の制定について

議案第 29 号 垂水市立小中学校の学校事務支援準備室の組織及び運営に関する要綱の制定について

議案第 30 号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について

5 その他

- ・「あつまれわんぱく！夏の勉強会」の開催について
- ・生涯学習市民講座及びシーカヤック大会等について
- ・土曜授業をめぐる動向について
- ・教育委員会課長報告

6 閉 会

議事内容等

| | |
|--------------|---|
| 3 報 告 | 委員並びに教育長 |
| 委員長 | 教育委員、教育長の報告をお願いします。 |
| 野村委員 | 子育てについて、学校だよりを見て協和小学校のノーメディアデーの取組は良いと思った。週1日、テレビやゲーム、漫画などをシャットアウトするもので、家族の会話や図画工作、読書、庭の草取りなど一緒に過ごす時間を作るなど、いろいろな工夫ができる。子育ての責務は第一に親が担っていると思う。子どもは親とは別の人格で、存在を大切に思いやることが必要だ。親の子育てへの思いがあれば、コミュニケーションを図りお互いに理解し合う努力をすることや子どもの感性を大切にすることが大事である。親の希望や価値観を子どもに押しつけないことも大事である。善悪の判断、正しい生活習慣はしっかり教えることが大事である。このことは、境小学校の「学校だより」7月号に、瀧里忠宜・鹿児島純心女子大学名誉教授の著書から引用、紹介されていた「心に届くことば」に通じる。 |
| 委員長 | 親の役割、家庭の役割について、「学校だより」に焦点を絞って話をしてもらった。ノーメディアデーについて、教育委員会事務局はどう捉えているか。 |
| 学校教育課長 | ノーメディアデーは基本的な生活習慣をしっかりと確立させるための取組だ。ノーメディアデーを設けることで、親子の対話から生まれる人間関係を家庭の中で築きましょうというものである。取組は、各学校の自主性に任せている。 |
| 教育長 | 本市では、家庭教育学級とか親が学ぶための予算がない。来年度の新規事業で、親の教育力を高めるための事業が作れないか、社会教育課に検討を指示している。 |
| 田原委員 | 7月23日に市小学校水泳記録会に参加したが、全小学校5・6年生の参加のもと、学校対抗で盛り上がった。特に垂水小、協和小の児童の泳ぎが速かった。夏休みに入ってすぐの大会で、泳ぎ込みが足りない児童も見かけた。 7月25日に県教育委員会主催の市町村教育委員会委員研修会に参加したが、午前中は県教委の説明、午後は講演と意見交換という内容であった。午前中は教育委員会の制度改革、学力向上対策、生徒指導の課題について説明がなされた。教育委員会制度の改革については、12月には中教審の答申が出て、平成26年1月には国会に法案が提出の見通しとのことで、私達もこういう動きに連動して考えていく必要がある。生徒指導では、いじめの緊急調査が平成24年9月に実施され、本県が全国で一番多かったが、解決済みも多く、平成25年6月を以て全て解消されたと報告があった。平成25年6月25日、いじめ防止対策推進法が成立した。教育委員会や学校で今後取りあげて、研修していく必要があると思う。 |

| | |
|--------|---|
| 委員長 | 水泳記録会は泳ぎ込みが不足とのことだったが、教育委員会事務局の考え方はどうか。いじめの状況について、概要を報告願いたい。 |
| 学校教育課長 | <p>1学期に12、13時間の授業を行い、水泳記録会に向けて各学校が選手を選抜して参加した。小規模校は全員が出場している。50メートルを泳ぎ切れない児童もあり、種目によっては得手、不得手も出てくる。学校に確認しながら、泳ぎ切れなかった事例については考慮してもらおう。</p> <p>いじめ問題については、本市は吟味して調査をし、学校とやりとりをしながら検討して、県教育委員会へ報告をした。その結果、重篤ないじめ問題は発生していなかった。</p> |
| 野村委員 | いじめ防止対策推進法に関して、全国的には週1回教師が集まって情報交換を開催し、手遅れにならないうちに早く気づき、芽を摘む体制づくり等の取組をしているところがある。何か起こったら対応するシステムを作る必要がある。本市も取組を行うべきと考える。 |
| 委員長 | 早期発見、早期対応との意見であるが、教育委員会事務局はどう思うか。 |
| 学校教育課長 | <p>県教委の動向も踏まえながら対応しなければならない。現状は、学校は生徒指導連絡会を月に1回、学期1回はいじめ問題を考える週間を取り組み、教育委員会は生徒指導担当者会を年2回、PTAを含む連絡協議会も開催している。生徒指導関係のセクションがうまく連携している。しかし絶えず危機意識は持つことが大事である。ご指摘の件、本市では何が必要なのか研究していかなければいけない。</p> |
| 委員長 | 早期発見、早期対応をお願いしたい。 |
| 中谷委員 | <p>柘原地区在住の保護者の立場で発言したい。夏休みに入り事件・事故がないよう、柘原小学校の児童を対象に寺子屋を開催してきた。今年もワクワクして待っていたが、学校が卒業記念の壁画作成を夏休みの朝に計画され、子ども達は毎日、学校に登校し、壁画の作成と学習をしているようだ。長年、子ども達が寺子屋に来て、学習、遊び、読み聞かせをしてきたが、来なくなり、残念に思った。しかし、子ども達は先ずは学校であり、自分は学校で出来ないことのお手伝いだと気付かされた。現在、8、9人来ている。柘原地区には学童保育がないので、続けていくことが大事だと思っている。</p> <p>7月11日に中央中学校では、3年生を対象に高校入試に向けての説明会が開催され、垂水高校の校長先生から「垂水高校に是非、入学させてください」と話があった。「生徒に補助があるから良い」、「補助があると助かる」との保護者の声が聞かれたが、生徒は私学など選択肢が多いので、難しいところもあると感じた。</p> <p>7月15日に新城の海岸で、第7回錦江湾シーカヤック大会が多くの参加者のもと開催されたが、日差しの強さが尋常でないので、今後、日焼け対策が必要ではないかと感じた。</p> |

| | |
|--------|---|
| 委員長 | 垂水高校の支援策について教育長説明をお願いしたい。 |
| 教育長 | 垂水市は市を挙げて垂水高校存続の支援策を講じている。支援の補助金は平成23年度が約10万円、平成24年度が約160万円、平成25年度は3倍近くの約490万円の補助を行っている。本年度、新たに公共交通機関を使って通学する生徒の定期代の3分の2を補助する制度を設けた。平成24年度からは、各種検定や模試の受験費用補助も行っている。 |
| 委員長 | シーカヤック大会の日焼け対策について、教育委員会事務局はどう思うか。 |
| 社会教育課長 | 来年の大会実施に向けて、テントの数を増やすなど検討したい。 |
| 教育長 | 7月15日、海の日シーカヤック大会には市内外から69チームが参加した。地元の柘原、新城地区の皆さんにご協力をいただいたことに感謝したい。印象に残ったことは、曾於市の岩南小学校の全校生徒は12名であるが、そのうち10名が参加してくれた。競技もさることながら、終了後、本部席前に整列して感謝の言葉を述べてくれた。また、海に向かって「ありがとうございました」と感謝の言葉を発していた。海の日イベントをすることで、この子ども達は生涯にわたって環境問題に取り組んでくれるものと感じた。本市の子ども達も少年団や部活に取り組んでいるが、作法に力を入れるような教育を進めていきたい。 |
| 4 議 事 | <p>議案第27号 垂水市立学校管理規則の一部改正について</p> <p>議案第28号 垂水市立小中学校事務支援室の組織及び運営に関する規程の制定について</p> <p>議案第29号 垂水市立小中学校の学校事務支援準備室の組織及び運営に関する要綱の制定について</p> |
| 教育総務課長 | より一層の事務の効率化や適正化を進め、学校運営への積極的な支援を目的に、9月1日から実施する小・中学校事務の共同実施のための関係規程の制定について説明。 |
| 委員長 | 質問等はないか。 |
| 野村委員 | 議案第27号垂水市立学校管理規則の一部改正のうち、第64条第4項に「室長は、専決した事務のうち、特に校長において了知しておく必要があると認められるものについては、適宜その内容を校長に報告しなければならない。」とあるが、室長の判断で了知の可否を決めると曖昧さが出てくる。どう考えるか。 |
| 教育総務課長 | 「校長に報告しなければならない」ものは、垂水市内、鹿児島県内において特異な事例を想定している。垂水市小中学校事務職員会で研究を進め |

| | |
|--------|--|
| 教育総務課長 | ているので、疑義が生じないよう更に、整理を進めていきたい。 |
| 委員長 | 他に質疑がないようなので、議案第 27 号、28 号、29 号は承認された。 |
| | 議案第 30 号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について |
| 教育総務課長 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第 1 項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することについて説明。 |
| 田原委員 | 教育委員の自己点検・評価票の「委員の意見・提案は施策に反映されたか。」が 3.0 から 2.7 に若干下降しているが、これは、予算を伴うものは緊急には出来ないことから、このような評価になっている。小学校施設も徐々に改修されている。スパンを長くしてみると良くできている。 「委員と市長・副市長・議会等との情報交換会等は適切になされたか。」が 2.5 から 2.3 に若干下降しているが、これは、公的な場で情報交換する場が設定されていないことから、このような評価になっている。 ※評価: 4(大変良くできた) 3(良くできた) 2(やや不十分) 1(問題あり) |
| 教育長 | 市長等との情報交換会については、市長の意向は「時間がとれたら、委員と意見交換したい」ということなので実現していきたい。校舎の整備については、特に小学校は安心・安全な教育環境といえる状況にないと感じている。今年から 3 年かけて外壁改修工事を実施していくこととしており、今年度は、終原小と協和小の外壁改修工事を 9 月 29 日の運動会までには終える予定である。6 月議会で国の緊急経済対策として水之上小校舎の雨漏りや垂水小の体育館及び水之上体育館の雨漏り対策の屋根防水工事などの予算を承認していただいた。この 3 年間で何とか、子ども達が安心して学べる環境を整えていきたいと考えている。厳しい財政状況だが、必要なものは要求していきたい。中学校については、昨年度までで校舎、体育館の整備が終了した。今年度は、武道館とプールの新設、運動場や侵入防止のフェンス等整備の工事も実施中である。あと残る体育倉庫等も来年度整備したいと考えている。 |
| 野村委員 | 統合された中学校跡地の利用策等現状について、説明願いたい。 |
| 教育総務課長 | 牛根中、協和中、垂水南中跡の校庭や体育館は一般開放している。校舎は、協和中跡は垂水市の倉庫として使用している。垂水南中跡は、垂水市が物産館とレストラン建設の計画を進めている。施設は教育委員会事務局で、定期的に点検を行っている。 |
| 野村委員 | 跡地の有効活用として、スポーツ合宿の誘致等、県外への呼びかけは行っていないのか。 |
| 教育総務課長 | 企業誘致には全庁的に取り組んできているが、貸付、売却とも契約までは至っていない。スポーツ合宿の誘致となれば、施設の耐震化工事が必要 |

| | |
|--------------|---|
| 教育総務課長 | となることから、取り組んでいない。 |
| 委員長 | 他に質疑がないようなので、議案第 30 号は承認された。 |
| 5 その他 | 1 「あつまれわんぱく！夏の勉強会」の開催について |
| 学校教育課長 | 8月22日、垂水中央中学校で垂水市内の小学4～6年生を対象に算数の勉強会を実施する内容及び経過を説明。 |
| | 2 生涯学習市民講座及びシーカヤック大会等について |
| 社会教育課長 | 平成25年度の垂水市生涯学習市民講座の実施状況及び7月15日に開催したシーカヤック大会の結果について説明。 |
| | 3 土曜授業をめぐる動向について |
| 学校教育課長 | 文部科学省「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめについて内容を説明。 |
| 教育総務課長 | 7月10日から8月9日までの主な行事等について報告。 |
| 学校教育課長 | 併せて、9月12日までの予定についてお知らせした。 |
| 社会教育課長 | |
| 委員長 | 委員から何か発言はないか。 |
| 中谷委員 | 垂水中央中のプール新設工事で、今年、生徒は1回も泳ぐことが出来なかった。3年生は最後だったので残念だった。 |
| 委員長 | 今の件、頭に置いていただきたい。 |
| 6 閉 会 | |